

## 令和3年度水稻作況情報

### ○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月21日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植3本植
- ・栽植密度 20.8株/m<sup>2</sup> (16cm×30cm)
- ・施肥施肥 (N・P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>・K<sub>2</sub>O kg/10a)

基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

### ○気象

#### ・育苗期間

気温は5月の播種期(5月第5半旬)以降、平年並に推移し、6月第2半旬は平年を上回った。降水量は5月第5から第6半旬には平年よりも多くなり、日照時間は5月第5半旬は平年を下回り6月第2半旬は平年を上回った。

#### ・生育期間

気温は移植直後やや平年を上回り、6月第4半旬には最高気温は平年を下回ったが、その後は平年並に推移した。日照時間は平年並に推移したが6月第6から7月第2半旬には平年を下回った。また、降水量は、7月第1半旬には平年を大幅に上回った。

### ○生育概況

#### ・育苗期間

苗質について、いずれの品種も葉齢はほぼ平年並であった。草丈はいずれの品種も平年を下回った。一方、乾物重はいずれの品種も平年を上回った。

#### ・生育期間

葉齢はいずれの品種も平年並に推移した。草丈はいずれの品種も移植時に平年を下回ったが、その後回復し、移植後30日ではいずれの品種も平年を上回った。茎数はいずれの品種も移植後20日では平年並か平年を上回ったが、移植後30日には平年を下回り、特に、キヌヒカリ’で顕著であった。

項目	調査日	キヌヒカリ				きぬむすめ				ヒノヒカリ						
		本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉			
葉齢(葉)	6月10日	3.2	-0.1	葉	0.0	葉	3.1	0.0	葉	0.0	葉	3.3	-0.1	葉	-0.1	葉
	6月20日	5.4	0.5	葉	0.2	葉	5.2	0.2	葉	0.1	葉	5.4	0.4	葉	0.3	葉
	6月30日	8.2	0.2	葉	0.1	葉	7.8	-0.2	葉	-0.5	葉	8.1	0.0	葉	-0.1	葉
	7月10日	10.3	0.2	葉	0.2	葉	9.9	-0.1	葉	-0.4	葉	10.2	0.1	葉	-0.1	葉
草丈(cm)	6月10日	13.6	82 %	86 %	14.7	97 %	96 %	11.6	88 %	81 %						
	6月20日	25.2	85 %	107 %	24.9	92 %	104 %	20.4	89 %	100 %						
	6月30日	33.1	91 %	97 %	29.4	91 %	92 %	26.7	100 %	96 %						
	7月10日	66.6	107 %	116 %	58.9	106 %	111 %	52.3	110 %	112 %						
茎数(本/m <sup>2</sup> )	6月20日	62.8	99 %	99 %	63.0	103 %	102 %	63.2	101 %	100 %						
	6月30日	203.1	103 %	102 %	194.8	115 %	113 %	200.3	108 %	115 %						
	7月10日	281.3	120 %	81 %	320.8	141 %	94 %	336.8	135 %	97 %						
乾物重(mg/本)	6月10日	25.9	134 %	141 %	22.6	109 %	117 %	25.9	134 %	141 %						

